当院の催吐リスクに応じた制吐療法の基本薬剤

<高度催吐性リスク>　90%を超える患者に発現する
①アプレピタントCap　125mg（day1）、80mg（day2-3）
②パロノセトロン点滴静注0.75mg（day1）
③デキサート注　9.9mg（day1）
④デカドロン錠4mg　２錠１× or デキサート注6.6mg（day2-4）

<中等度催吐性リスク；標準>　30～90%の患者に発現する
①グラニセトロン静注液1mg（day1）
②デキサート注　9.9mg（day1）
③デカドロン錠4mg　2錠1×（day2-3）

<中等度催吐性リスク；特定薬剤>　30～90%の患者に発現する
※特定薬剤：カルボプラチン、イホスファミド、イリノテカン、メトトレキサート 個別に制吐療法設定あり
①アプレピタントCap　125mg（day1）、80mg（day2-3）
②パロノセトロン点滴静注0.75mg（day1）or　グラニセトロン静注液1mg（day1）
③デキサート注　4.95mg（day1）
④デカドロン錠4mg　１錠１×（day2-3；省略可）

<軽度催吐性リスク>　10～30%の患者に発現する
①デキサート注　6.6mg（day1）

<最小度催吐性リスク>　発現しても10%未満である
※予防的な制吐療法は実施しない